問題1-5 $d=\sqrt[3]{L}=\{a+bd+cd^2|a,b,c\in Q\} \ \forall a,b,c\in Q\}$

LがQ,dを含むRの最小の部分体になっていることを示せ、□

解答例

- (1) Lは取の部分体であり、Qとdを含む、
 - (2) MERの部分体でQ人を含むものとすると LCM.
- (1) しか Pの 部分体で Q, d を含むことを示える、
- QCLとdeLは明らか、

しか \mathbb{R} の 部分体であることを示すためには、 $0 \ge 1$ を含み、十、一、X で 閉じていて、任意の $\beta \in L$ について $\beta \neq 0$ $\Rightarrow \beta^{-1} \in L$ となることを示せ α^{n} よい、 $0 \in L$ 、 $1 \in L$ かよか しか 加法と減法で閉じていることは 明らか、

 $\beta \delta = (\alpha \alpha' + 2bc' + 2cb') + (\alpha b' + b\alpha' + 2cc') d + (\alpha c' + bb' + c\alpha') d^2 \in L$ これで しか 毎法で 閉じていることからかった、 $\beta \in L$, $\beta \neq 0$ と仮定する。 $\beta = a + bd + cd^2$ $(a,b,c \in Q)$ と書ける、 $\frac{1}{\beta} = \frac{1}{a + bd + cd^2} \in L$ となることを示したい、

公式 $(X+y+z)(x^2+y^2+z^2-xy-xz-yz)=x^3+y^3+z^3-3xyz$ 艺 $\chi=a,\ y=bd,\ Z=cd^2$ に 適用すると,

 $\beta(x^{2}+y^{2}+z^{2}-xy-xz-yz) = \alpha^{3}+2b^{3}+4c^{3}-6abc \in Q,$ $\in L \qquad \alpha'+b'd+c'd^{2}(\alpha',b',c'\in Q) \times 3+3$

もしもこれのお辺かのでなければ、西辺を β×(石辺)で割ることによって,

$$\frac{1}{\beta} = \frac{\alpha' + b'd + c'd^2}{d} = \frac{\alpha'}{d} + \frac{b'}{d}d + \frac{c'}{d}d^2 \in L.$$

$$\chi^{2} + \gamma^{2} + z^{2} - \chi \gamma - \chi z - \gamma z = \frac{1}{2} ((\chi - \gamma)^{2} + (\chi - z)^{2} + (\gamma - z)^{2}) > 0.$$

ネマやきことかったされた,

q.e.d.

問題1-6 又に関する3次方程式 ス3-3px+9=0の解法を作れ、□

解答例 (問題1-4の解答例を見よ、) $\omega^2 + \omega + 1 = 0$ と仮定する、 $\omega = 3$ ($\omega^2 + \omega + 1 = 0$ と仮定する、 $\omega = 3$ ($\omega^2 + \omega + 1 = 0$ と仮定する、 $\omega = 3$ ($\omega^2 + \omega + 1 = 0$ と仮定する、 問題1-4の結果より、

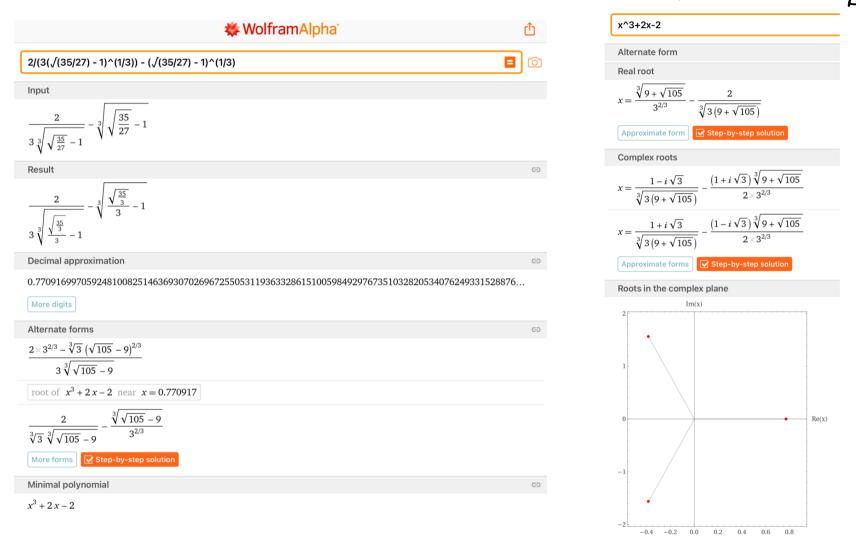
 $\chi^3 - 3yz \cdot \chi + (y^3 + z^3) = (\chi + y + z)(\chi + wy + \omega^2 z)(\chi + \omega^2 y + \omega z),$ ゆえた、もしも 与えられた ド(キロ)、タロタレフ、 タフ=ド、 $y^3 + z^3 = 9$ をみたす (y, z) を 作れれば、 $\chi^3 - 3$ ド $\chi + 9 = 0$ は $\chi = -y - z$ 、 $-\omega y - \omega^2 z$ 、 $-\omega^2 y - \omega z$ と角なける

 $Y = P^3$, Y + Z = P をみたす Y, Z は 2 次方程式 $\lambda^2 - q\lambda + P^3 = 0$ の解になる. Z = P と Z = P

解決まとめ ① パータル+ド=0の解の1つをYと書く、

- ② りゅートをみたすりを1つ取り、ナニタとかく、
- 3 x = -y 2, $-wy w^2 2$, $-w^2 y w 2$ $(w^2 + w + 1 = 0)$

問題1-7 ス3+2×-2=0をみたす正の実数×=又が存在することを示せ、 さらによの具体的な形を求めよ(「とり」を使って表也)



https://www.wolframalpha.com/input/?i=2%2F%283%28%E2%88%9A%2835%2F27%29%20-%201%29%5E%281%2F3%29%20-%20%28%E2%88%9A%2835%2F27%29%20-%201%29%5E%281%2F3%29 解答例 x3+1x-2型0の正の実数解を求めたい、

 $P = -\frac{2}{3}$, f = -2 とおくと、(*) は $\chi^3 - 3P\chi + f = 0$ と書ける、 問題 1-6の解法を使かう、 $\lambda^2 - f\lambda + P^3 = \lambda^2 + 2\lambda - \frac{8}{27} = 0$ の正の実数解は $Y = -1 + \sqrt{1^2 + \frac{8}{27}} = \sqrt{\frac{35}{27}} - 1 > 0$ 、

 $y=\sqrt[3]{\gamma}>0$, $z=\frac{2}{3}=-\frac{2}{3}$ < 0 とかく、問題1-6の紹果より、 $d=-y-z=\frac{2}{3\sqrt[3]{\gamma}}-\sqrt[3]{\gamma}\in\mathbb{R}$

は(水の実数解になっている。(d = 0.77 なのでd>0た"が, 別の方法では>0であることを示す。)

 $f(x) = x^3 + 2x - 2$ とかくと、 $f'(x) = 3x^2 + 2 > 0$ ($x \in \mathbb{R}$) なので、f(x) は \mathbb{R} 上で狭義 単調 増加し、f(0) = -2、f(1) = 1 なので、f(x) = 0 は 唯一つの実数解を持ち、その実数解は上のよになる、(さらに $0 < \alpha < 1$ も示せている。)

問題 2-1 (易) ス3-15x+4=0の3つの解を問題1-6の解答例の方法で"作れ、 さらに、一4が解の1つになっていることを使って求めた3つの解と一致することを示せ、

次ページを見る前にこの問題を解くこと、動画もここでストップ。!

ためしに 4の約数±1,±2,±4をメに代入すると, x=-4のとき, $X^3-15x+4=-4^3+15\cdot4+4=-64+60+4=0$.

解答例 12-5,9=4とかく、

 $\chi^3 - 15 \chi + 4 = \chi^3 - 3 p \chi + 9 = 0$ 以 問題 1 - 6 の解答例によれば以下のようにして解ける、 $\lambda^2 - 9 \lambda + p^3 = \lambda^2 - 4 \lambda + 125 = 0$ を解くと,

 $\lambda = 2 \pm \sqrt{4-125} = 2 \pm \sqrt{-121} = 2 \pm \sqrt{11} \lambda \quad (\lambda = \sqrt{1}).$

 $Y = 2 + \sqrt{11}$ んかき、Yの立法報の1つを $y = \sqrt[3]{2+11}$ と書き、 $Z = \frac{\mu}{y} = \frac{5}{y} \times \pi^{3}$ このとき $\chi^{3} - 15\chi + 4 = 0$ は次のように解ける:

 $X = -y^{-2}, -wy - w^{2}z, -w^{2}y - wz$ $(w^{2}+w+1=0),$ $(-y^{-2}, -wy - w^{2}z, -w^{2}y - wz) = \{-4, 2+\sqrt{3}, 2-\sqrt{3}\}$ $z \in \mathbb{Z}$ $L \in \mathbb{Z}$ $L \in \mathbb{Z}$

Yの立法根の1つとして、y=2+iかとれる、(こか大変、 室際. $(2+\lambda)^3 = 2^3 + 3 \cdot 2^2 \lambda + 3 \cdot 2 \cdot \lambda^2 + \lambda^3 = 8 + 12\lambda - 6 - \lambda = 2 + 11\lambda = Y$ $\frac{z}{y} = \frac{5}{2+\lambda} = \frac{5(2-\lambda)}{(2+\lambda)(2-\lambda)} = \frac{5(2-\lambda)}{4+1} = 2-\lambda$ $202^{5}, \quad y = 2+\lambda \quad \xi \quad z = 2-\lambda \quad \xi'), \quad \omega = \frac{-1+\sqrt{3}\lambda}{2} \quad \xi \quad \xi' < \xi, \quad \omega^{2} = \frac{-1-\sqrt{3}\lambda}{2} \quad \zeta'$ $\int -y - z = -2 - \hat{\lambda} - 2 + \hat{\lambda} = -4$ $-\omega y - \omega^2 z = -\frac{-1 + \sqrt{3} \hat{\lambda}}{2} (2 + \hat{\lambda}) - \frac{-1 - \sqrt{3} \hat{\lambda}}{2} (2 - \hat{\lambda}) = -1 Re \left(\frac{-1 + \sqrt{3} \hat{\lambda}}{2} (2 + \hat{\lambda}) \right) = 2 + \sqrt{3}$ 互いに複建生役 マナマ = 2 Re(2)

これでテタマきことが示された、

ポイント 2+1はの立法報の1つとして 2+んがとれること。 口